

作業学習学習指導案

単元(題材)名 記念品の製作をしよう	日時	H 2 2 年 2 月 1 9 日 (金)		2 校時
	対象	高等部	指導の形態	作業学習(ハンドクラフト班)
	場所	理科室 視聴覚室 E棟廊下	指導者	(T1),(T2) (T3),(T4) (T4),(T5)

単元(題材)の意義 価値

ハンドクラフト班では、「紙ちぎり・ミキサー」、「紙すき」、「アイロン・プレス」、「ステンシル」、「さをり織り」の5つのグループに分かれて活動している。本単元では、1年間の作業経験を生かし、共に活動してきた仲間のために、卒業、進級の記念品を製作する。ここでは、自分の仕事に責任をもち、丁寧に作業を進めていくことに加えて、より質の高い製品を作り上げることを目標とする。また、ただ製作するだけでなく、事前に要望を聞くことで、相手の要望に応えるという活動もとり入れ、ともに活動してきた仲間のために、ひとつひとつ丁寧に製品を作り上げていくことで、より仕事に対する責任感や意欲、より良い製品を作りを行う意欲を育てることができ、技能の向上や創意・工夫していく力を育てることができると考える。

単元 題材の目標

自分の作業内容を理解して、責任をもって行うことができる。

報告や連絡、相談をしっかりと行い、お互いに協力しながら作業を行うことができる。

1年間の活動を振り返り、身に付けた技術を生かして記念品を製作することができる。

指導の手立て

記念品の製作に向けて生徒が全体的な見通しをもち、自分の仕事を責任をもって行っていくために、単元の始めに、日程や作業計画、生産目標を作業計画表を使って説明する。その次に、担当する作業グループごとに分かれ、具体的な作業内容や手順、自分の目標を決め、作業を進めていくようにする。毎時間の始めには、前時の課題や進捗状況を基に、今日の作業内容や目標をしっかりと確認し、作業を開始する。その際、指示を待って動くのではなく、生徒が自主的に行動する力を育てるために、作業内容や目標の確認、作業準備はなるべく生徒自身で行うようにし、教師の支援は最小限に留めておく。また、ハンドクラフト班は、5つのグループに分かれ活動しているが、各グループは、密接に関係しており、自分の仕事が次の段階にどのように関係するのかを理解し、責任感を育てるとともに、お互いの進捗状況や不足しているものはないかなど、作業の途中でも連絡や確認、質問などを行っていく。さらに作業途中でも、課題を指摘し、改善点を教師と一緒に考えたり、良いところは称賛するなどして、作業意欲を高め、持続するようにしていきたい。そして、作業終了時の反省会は、全体で行い、各グループの成果や課題を発表することで、お互いの頑張りを称賛し、ハンドクラフト班全体の活動の様子を理解するとともに、次の時間の意欲を高めることができると考える。

展望

自分の仕事を責任をもって行い、仲間と連携していくことで一つの製品ができあがることを理解する共に、使う人に喜ばれるようなより質の高い製品作りを目指すことで、働くことの喜びや充実感を知り、働くことへの興味・感心、意欲を育てることができる。そして更に、次年度の作業学習や卒業後の生活について、考える力を育てることにつながっていくと考える。

また、作業学習は、生活単元学習や日常生活の指導の中で、取り組んでいるあいさつや言葉遣い、場に応じた服装を整えることなどを実践できる場であり、社会生活を送るための必要なマナーを身につけることができ、これらのことが、卒業後の進路決定や将来の生活に活かされていくと考える。

一人一人の実態から目標を設定

氏名	A 〔紙ちぎり・ミキサー〕	B 〔紙すき〕	C 〔アイロン・プレス〕	D 〔ステンシル〕				
単元等に関する実態	<p>自分の作業について理解できており手順表を見ながら、丁寧に作業を進めることができる。</p> <p>「終わりました。」 「次は何色を作ったらいいですか。」などの報告ができるようになってきている。</p>	<p>説明をよく聞いて、自分の仕事内容や手順理解し、自分で作業を進めていくことができる。また、より質の高い製品を作るために気をつけることを理解している。</p> <p>ハンドクラフト班全体の仕事の流れや自分の仕事の重要性を理解している。</p>	<p>時々、とまどうこともあるが、自分の仕事内容や手順を理解し、作業を行うことができる。報告や連絡をすることを徹底し、一つずつ確認しながら作業に取り組んでいる。</p> <p>プレス機を正しく取り扱い、はがきをしわのないように伸ばしていくことができる。</p>	<p>自分の仕事の内容やハンドクラフト班全体の作業の流れを知り、自分の仕事の重要性を理解している。</p> <p>より質の高い製品を作るためにデザインや配色など工夫したり、色の濃さなど細かな点にも配慮しながら、丁寧に作業を進めることができる。</p>				
関する基礎課題	<p>簡単な文章で出来事や自分の気持ちを書くことができる。</p> <p>相手に自分の考えを伝えるたり、聞き取ることができる。</p> <p>友達や教師へ大きな声であいさつをする。</p>	<p>自分の気持ちを整理して相手に伝えることができる。</p> <p>身の回りの整理整頓をしっかりとすることができる。</p> <p>相手の気持ちを考えて行動（話を）することができる。</p>	<p>質問に対してしっかり考え、自分の言葉で返答できる。</p> <p>希望することを声に出して適切な言葉遣いで伝えることができる。</p> <p>片付けや整理整頓が今よりも素早くできる。</p> <p>多くの友達と積極的にかかわり、自分の意思を伝えられるようになる。</p>	<p>自分の体調に合わせ活動量や運動量を自己コントロールすることができる。</p> <p>さまざまな場面で、積極的に自分の意見を発表することができる。</p> <p>友達や教師と様々な遊びや活動を通して、積極的にかかわることができる。</p>				
単元の個人目標	<p>「終わりました。」 「どうしたらいいですか。」、「わかりました。」、「ありがとう」といった、報告や連絡がしっかりとできる。</p> <p>異物の混入や水の量の調整に配慮しながら、きれいな紙すき用の液を作ることができる。</p>	<p>集中して作業に取り組むことができる。</p> <p>仕上がり具合の相談や確認ができ、より質の高い製品を作ることができる。</p>	<p>プレス機を使って、はがきをしわのないようにのばすことができる。</p> <p>報告や連絡をしっかりと行うことができる。</p> <p>指示を良く聞いて確実に作業を進めることができる。</p>	<p>デザインや配色を工夫しながらステンシルを行い、カレンダーやはがきを作ることができる。</p> <p>必要なのはがきの枚数を計算し、紙すき班に伝えることができる。</p>				
	基礎課題	言語	数量	身辺処理	身体動作	社会性等	遊び余暇等	その他

授業づくりの経過

授業前ミーティング

生徒の基礎課題

これまでの成果・身につけてきた力の確認

自分の仕事内容への理解 一定時間の集中力や持続力
あいさつや返事，報告，連絡，相談 など

今後の課題・さらに身につけて行きたい力

自分の仕事に対する責任感 自主的に活動する力
報告，連絡，相談の徹底 より質の高い製品作りを目指す力 創意・工夫

指導の手だて

自分の仕事を理解し，見通しをもって，自主的に活動するために

単元の始め 班全体の作業計画や作業内容を説明し，記念品製作への全体的な流れを理解できるようにする。

毎時間の取り組み

作業開始時 作業分担表や見て作業内容を確認し，日誌を記入した後，作業の準備を行う。

作業分担表 今日の作業内容と目標 + **作業日誌** 前時の作業内容や課題の確認，今日の作業内容と目標を記入

作業中 **手順表の活用** **出来高表への記入**

作業の終わり ・本時の成果と課題，改善点の確認 日誌に記入し，次時へ生かす。

自分の仕事に対する責任感の育成

注文票の活用 作ってほしい物やその個数，期日を担当するグループに依頼

報告・連絡・相談の徹底

- ・ 適切な言葉遣いや声の大きさ，話すときの態度や姿勢に気をつける。その都度指摘し，改善するようにしていく。

より質の高い製品作りを目指す力を育てるために

- ・ 製品の出来映えの確認 ・ 課題を見つけ改善する力を育てるために，自分で改善点を見つけ，改善方法を考えるようにする。必要に応じて教師と一緒に考えていく。

生徒の変容

A〔紙ちぎり・ミキサー〕	B〔紙すき〕	C〔アイロン・プレス〕	D〔ステンシル〕
手順表を見ながら，確実に作業を進めることができる。 異物を取り除いたり，水の量を調整しながら，紙すき用の液を作ることができるようになってきている。	仕上がり具合の確認や相談ができ，指定された厚さの紙を作ることができるようになってきている。 不純物を取り除くなど細かな部分にも配慮し，質の高い製品作りができるようになってきている。	作業手順の一部を時々忘れてしまうことがあるが，ひとつひとつ確認しながら，自分で作業を進めている。 紙がしわにならないように気をつけながら，丁寧に作業ができている。	製品の目的に応じてデザインや色の組み合わせを工夫しながら製品作りに取り組んでいる。 水の量や色の濃さを適切に調整でき，質の高い製品作りができる。

指導にあたって

- 一人一人が、自分の作業を理解し、意欲的に取り組む力は身に付けてきている。本時では、自分の作業への役割を理解し、責任感を育てるために、注文票や出来高表を活用する。また、より質の高い製品作りのために、作業中であっても、気づいたことはお互いに伝え合い連携を深めて行くようにする。反省会では、グループ全体の成果や課題も発表し、お互いの頑張りを称賛し、進捗状況などを共有できるようにする。

指導計画（総時間 35時間）

次	主な学習活動	時間	資料・準備
一	記念品製作に向けての作業内容や日程について知る。 自分の作業内容について知り、各作業グループで作業計画を立てる。 * ステンシルグループは、必要なはがきの枚数や色を各グループに伝える。	3	作業分担表 作業日誌 出来高表
二	記念品の製作をする。 ・ 紙ちぎり、ミキサー ・ 紙すき ・ アイロン・プレス ・ ステンシル ・ さをり織り	29 * 本時 13	注文票、手順表 出来高表 作業日誌
三	製品の仕上げをする。 ・ 不良品がないか、確認する。 ・ 仕上げのスタンプを押しする。 ラッピングをする。	3	カード 出来高表 作業日誌

単元のはじめに、班全体の作業内容や作業計画、販売計画を説明し、いづよう祭りへ向けての全体的な流れがつかめるようにする。

作業の開始にあたっては、作業分担表や前時の反省を参考にして、本時の作業内容や目標を作業日誌に記入し、自主的に作業を進めていくようにするが、教師は、日誌の記入や作業の準備の様子などをしっかりと確認し、不十分な点は改善するようにする。また、特に注意する内容がある時には、改めて確認し、作業に入っていくようにする。

作業中であっても、出来映えや作業の様子などを確認し、良くなったポイントなどを分かりやすく示し、賞賛の言葉かけを行ったり、さらに良くなるためのアドバイスを行っていく。改善点がある場合には、そのポイントを具体例を示すなどして分かりやすく示し、改善方法をなるべく自分で気づくことができるようにしていく。難しい場合は、教師と一緒に考えていくようにし、生徒が理解し、納得して作業を進めていくことができるようにする。具体例を示す場合には提示の仕方に注意する。また、説明や指示の内容が理解できているか、必要に応じて復唱させるなどして確認する。

5つのグループに分かれて活動しているが、作業中でも気づいたことや質問などがある時は、その都度確認し、連携を図っていく。その場合は、教師が行うのではなく、なるべく生徒同士で行っていくようにする。

あいさつや返事、報告や連絡などは、しっかりとできるようになってきているが、声が小さかったり、内容が不十分な時などは、その都度指摘し、改善するようにしていく。

後かたづけでは、早く終わったグループは、他のグループを手伝うなどして、お互い協力しながら行っていくようにする。掃除や道具の後始末がしっかりとできているか、お互いに確認する。

反省会では、各グループ代表が1名発表するが、その中で個人の反省だけでなく、グループ全体の成果や課題も発表し、全体でお互いの頑張りがや進捗状況などを共有できるようにする。また、本時の中で、特に良かったことや頑張っていることなどを紹介し、お互いに賞賛することにより次時の意欲が高まっていくようにする。

授業の実際

		全体	個人	A〔紙ちぎり・ミキサー〕	B〔紙すき〕	C〔アイロン・プレス〕	D〔ステンシル〕
目標		報告や連絡がしっかりとでき、責任をもって作業を行うことができる。		手順表を見ながら、確実に作業ができる。	仕上がり具合の確認ができ、より質の高い製品作りができる。	報告や連絡をしっかりと行うことができる。	デザインや配色を工夫してステンシルを行うことができる。
		----- 導 上 の 留 意 点 -----					
		主な学習活動		A	B	C	D
導入 8分	1	作業開始の準備をする。 出勤印の押印 作業日誌の記入 道具を準備		<ul style="list-style-type: none"> 元気に良くあいさつをし、入室する。 全： あいさつの仕方や服装などを確認し、必要に応じて改善させるようにする。 作業分担表を見て、仕事内容や目標を日誌に記入する。 全： ~ がしっかりとできているか、確認する。 前時の反省や課題を振り返り、大切なポイントを理解できているか、確認する。必要に応じて具体例を示すなどしながら再確認し、しっかりと理解できてから作業に取り組むようにする。 			
	展開 37分	2	各グループで作業を進める。 紙ちぎり・ミキサー 紙を細かくちぎり、ミキサーにかけ、紙すき用の液を作る。 アイロン・プレス 紙をプレス機にかけはがきの大きさをカットする。 ステンシル 紙にステンシルを行い、はがきやカードを作る。 さをり織り		<ul style="list-style-type: none"> 作業の手順表を見ながら作業を進める。 作った色を記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> 液の濃さを確認し、調整する。 液の中の不純物を取り除く。 紙をすいたら、T3に確認してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> プレスが終わったら、T4に報告し、確認してもらう。 プレスした枚数を記録する。
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">T2： 集中力や意欲が持続できるように作業の進み具合の確認や言葉掛けを行う</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">T3： 紙の仕上がり具合を確認し、課題はその都度指摘し、改善するようにする</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">T4： プレスの状態を確認し、課題はその都度指摘し、改善するようにする</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 100px;">T1： 仕上り具合を確認し、改善点があれば、その都度改善する。より良い製品を作るための方法を一緒に考える</div>		<ul style="list-style-type: none"> 全： 作業を通して気づいたことを、お互いに報告し、連携を図りながら作業を進めるようにする。（作業態度、製品の仕上がり具合、要望など） 次時に使いやすいように道具は丁寧に洗浄し、決められた場所に片付ける。 早く終わったら、他のグループを手伝うようにする。 			
終末 15分	3	後片付けをする。 道具の洗浄 後始末 清掃		<ul style="list-style-type: none"> 全： 作業を通して気づいたことを、お互いに報告し、連携を図りながら作業を進めるようにする。（作業態度、製品の仕上がり具合、要望など） 次時に使いやすいように道具は丁寧に洗浄し、決められた場所に片付ける。 早く終わったら、他のグループを手伝うようにする。 			
	4	各グループで反省をする。		<ul style="list-style-type: none"> 今日の作業内容を確認し、次に生かせるように、頑張ったこと（良かったこと・できたこと）や課題を日誌に記入する。 今日できた製品の数を出来高表に確実に記入する。 反省会では、各グループ代表者1名が反省とグループ全体の成果を発表し、お互いの作業の進捗状況を共有できるようにする。成果を発表する時には、具体的な数やできた製品を示し、全員に分かりやすいようにする。 			
5	反省会をする。 (10:43~) * 司会者は班長が行う。 各グループの反省 先生の話し		<ul style="list-style-type: none"> 全： 作業を通して気づいたことを、お互いに報告し、連携を図りながら作業を進めるようにする。（作業態度、製品の仕上がり具合、要望など） 次時に使いやすいように道具は丁寧に洗浄し、決められた場所に片付ける。 早く終わったら、他のグループを手伝うようにする。 				
6	終わりのあいさつをする。		<ul style="list-style-type: none"> T1： 今日の成果を確認し、お互いに称賛するとともに、課題や次時に頑張ってもらいたいことを伝え、次回の作業学習への見通しや意欲をもてるようにする。 班長が号令を掛け、大きな声であいさつをする。また、姿勢にも気を付けるようにする。 みんなで協力して戸締りをする。 				

□ 一斉への働き掛け

◊ 個への働き掛け